

学習用端末（^{クロームブック}Chromebook）の使用に関する注意点などについて

GIGA スクール構想に基づく一人一台端末の導入に伴い、全児童生徒に無償貸与している学習用端末クロームブックについて、各家庭への持ち帰り、学校での活用に加えて家庭学習においても ICT 機器を効果的に活用した学びの推進を図ってまいります。

つきましては、学習用端末の使用に関するルールや注意点に関して、学校での指導に加え、各家庭での正しい利用について保護者の皆様からご理解をいただき、お子様と一緒に確認していただきますようお願いいたします。

1. 貸与・使用する学習用端末について

学校で貸与しているクロームブックは、学習活動に使うことが本来の目的ですので、学習活動以外のことには使用しないようにご注意ください。

【機種】HP 製 HP Fortis Flip G1m 11 Chromebook（導入価格：約 67,000 円）

HP 製品ホームページ

https://jp.ext.hp.com/prod/notebooks/business/chromebook_fortis_flip_g1m11/



<製品カタログより>

米国国防総省調達基準の MIL-STD-810H（合板への落下試験（122cm）など 24 項目）をクリア。防滴かつキートップが外れにくい仕様のキーボードなど、毎日の使用に耐える頑丈な設計を採用しています。

11.6 インチ、10 点マルチタッチ対応。コンバーチブルタイプの PC は 360° 回転するためタブレットとしても利用が可能。Web カメラはインカメラに加え、高解像度のアウトカメラも搭載。QR コード読み取りや写真・動画撮影をともなう学習スタイルにも対応します。

2. 学習ソフト・アプリケーションについて

- (1) クロームブックでは、Google Workspace for Education という Google 社のアプリケーションツールを使用します。オンライン授業を行うための「Google Meet」や、課題の作成、提出を行うための「Google Classroom」、アンケートや報告作業を行うための「Google フォーム」、データ保存をするための「Google Drive」など、Google 社が提供・管理しているオンラインストレージを使用します。

（２）デジタル教科書の活用

紙の教科書に加えて令和8年度においては、小学校５・６年生の算数と英語、中学校は数学と英語のデジタル教科書を併用しています。

（３）共通アプリケーション「ロイロノート・スクール」の活用

このアプリは、文字以外にも写真や動画など、様々な考えや情報を瞬時に共有できるほか、子どもたちが自分の考えを発表したり、クラスメイトとの意見や考えと比較したりすることで、対話的な学びを行うことができます。

３．貸与品

学校から貸し出ししている機器は、①クロームブック本体、②充電器（ACアダプタ）③タッチペンです。充電の際は必ず付属のACアダプタを使用してください。

４．貸与に関する留意点

（１）クロームブックは学年が変わっても同じものを使います（小学１年生～６年生／中学１年生～３年生）。そのため、卒業時には学校に返却し、その端末を次の新入生が使うことになりますので大切に取り扱いいただくようお願いいたします。

（２）クロームブック本体には、端末番号シールが貼ってあります。シールを剥がしてしまうとお客様の端末か分からなくなってしまう可能性がありますので、剥がさないようにご注意ください。意図せずシールが剥がれてしまった場合は、担任の先生に伝えてください。また、お子様がシールなどを貼らないようにしてください。

５．故障や破損した場合について

クロームブックが正常に作動しない場合は、すぐに担任の先生に連絡していただき、その状況について説明してください。故障期間中はお客様のクロームブックを使うことができないため、予備機を使用することになります。

（破損した・破損させた場合）

通常利用の範囲内での故障については教育委員会が修繕対応しますが、お子様に明らかな過失や意図的に破損させた場合は、修繕費用などを請求する場合がありますので、取り扱いには十分ご注意ください。不安な方は、学習用端末を対象としている個人賠償責任保険などへの加入をご検討ください。

＜修繕費用を請求する場合の事例＞

- ・自分で液晶画面を叩いたり、床に投げつけたり、踏んだりして破損させた
- ・教室で友達にいたずらをした拍子に落下し、液晶を破損させた
- ・下校中に寄り道をして、遊んでいるときに水路に落として水没させた
- ・自宅で使用している際に飲み物をこぼして作動しなくなった など

6. クロームブックの取り扱いについて

- (1) クロームブックは精密機器ですので、丁寧に利用してください。少しでも異変を感じた場合はすぐに利用を停止し、担任の先生に連絡してください。
- (2) クロームブックは重量がありますので、登下校時はできるだけ手提げ袋などではなくランドセルに入れるなどして運んでください。歩きスマホと同じように、仮に画面を見ながら歩いてしまうと重大な事故につながる可能性がありますので、登下校時はランドセルやカバンから出さないようにしてください。

7. 家庭での使用について

- (1) 家庭で使用する際は、インターネットに接続した利用を想定しております。

ご家庭でクロームブックを使用する際は、オンライン学習に必要な無線LANなどによるインターネット環境が必要となります（家庭に持ち帰る際は、オンラインに接続した学習を想定しております）。

※要保護・準要保護世帯については、令和5年度からオンライン学習に係る通信費用などに対して、年間一定額（上限：年額15,000円/世帯）の支援を実施しております。

- (2) 家庭での使用の際には、お子様と話し合い、使用時間や使用場所などについて、各家庭でルールを決めてご使用ください。

※ただし、小学生は使用可能時間を朝6時から夜9時まで、中学生は朝6時から夜10時までとします。

- (3) 健康面への配慮について

- ①端末を使用する際に良い姿勢を保ち、机と椅子の高さを正しく合わせて、目と端末の画面との距離を30cm以上離す（目と画面の距離は長ければ長い方がよいです）。
- ②長時間にわたって継続して画面を見ないよう、30分に1回は、20秒以上、画面から目を離してできるだけ遠くを見るなどして目を休める。
- ③端末を見続ける一度の学習活動が長くないようにする。
- ④画面の反射や画面への映り込みを防止するために、画面の角度や明るさを調整する。
- ⑤部屋の明るさに合わせて、端末の画面の明るさを調整する（一般には、夜に自宅で使用する際には、昼間に学校の教室で使用する際よりも、明るさ（輝度）を下げます）。
- ⑥就寝1時間前からはICT機器の利用を控える（睡眠前に強い光を浴びると、入眠作用があるホルモン「メラトニン」の分泌が阻害され、寝つきが悪くなるため）。

8. 情報モラルやセキュリティを守るために、注意していただきたいこと。

- (1) 個人情報を守るため、次のことに注意してください。

- ①お子様がログインしたクロームブックを他人に貸したり、使わせたりしないようにする。

- ②お子様のアカウント、パスワードは保護者や先生以外に教えないようにする。
- ③お子様や他人の個人情報が特定できるデータ（住所、名前、電話番号、顔や自宅が入った写真など）をインターネット上に書き込まない、アップロードしないようにする。
- ④内蔵カメラで学習と関係ない写真や動画を撮らない、カメラで人を撮影するときは勝手に撮らないようにする。

（2）情報モラルを守るため、次のことに注意してください。

- ①誰かを傷つけたり、嫌な思いをさせたりすることをインターネット上の掲示板に書き込んだり、友達同士でやり取りしたりしないようにする。
- ②SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）は使用しないようにする。

（3）セキュリティ対策などについて

- ①パスワードは、友達には教えないように学校で指導しますが、何らかの方法で友達のパスワードを知り、なりすましで友達のアカウントでログインしてしまうと様々な問題が発生しますので、パスワードの管理にはご注意ください。不審な点がありましたら、速やかに担任の先生に連絡してください。
- ②貸与しているクロームブックは、フィルタリングソフトにより、有害なWebサイトなどの閲覧制限やSNSやGmailなどの外部と繋がる機能の制限等、対策を行っております。
- ③フィルタリングソフトが適応されなくなってしまうため、ご家庭の各端末において、児童生徒のアカウントでログインすることのないよう、ご注意ください。
- ④パスワードを忘れた場合は、担任の先生に確認してください。

9. 児童生徒による生成AIの利用について注意いただきたいこと

（1）利用規約における年齢制限について

学習においては、児童生徒のアカウントでのみ「Gemini」、「Gemini Notebook」の利用を推奨していますが、生成AIサービスによっては、13歳未満は原則利用不可としているもののほか、18歳未満の利用には保護者の同意を求めているものもあります。各サービスの利用規約をお子様と一緒に確認してください。

（2）個人情報・プライバシーの取り扱いについて

入力内容は、AIの学習データに取り込まれ、外部に流出する危険性があります。個人情報やプライバシーを入力させないようご注意ください。

（3）ハルシネーションやバイアスについて

生成AIは、もっともらしい嘘や誤情報（ハルシネーション）を出力することがあります。また、考え方や判断が偏ってしまう（バイアス）場合があります。必ず教科書や辞書などの信頼できる情報源で事実確認させるようにしてください。

（4）丸写しの危険性について

読書感想文やレポートなどをAIに丸ごと考えてもらい、そのまま提出するのは学校のルール違反や著作権トラブルに繋がる恐れがあります。AIを「答えを出すツール」としてではなく、「アイデア出しや考えを深めるツール」として使用させるようにしてください。

10. その他の注意事項

- (1) クロームブックを使用する時は、自宅の中で使用するようになしてください。登下校以外で自宅から持ち出さないようになしてください。
- (2) 使用する時は、周囲に水やジュースなどクロームブックが破損するようなものを置かないようになしてください。
- (3) クロームブックの上に乗らない、重い物を置かないようになしてください。
- (4) クロームブックを使用しない時は、ランドセルや通学用カバンの中に入れておくようになしてください。
- (5) 強い磁気がある物には、近づけないようになしてください。
- (6) 車内などの高温または低温環境になりやすい場所、直射日光に長時間さらされる場所などには置きっぱなしにしないでください。また、車内に放置すると、盗難にあう危険性があります。
- (7) 不明な点については、各学校の担任の先生に確認してください。